

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 3 区分

【発行日】平成29年10月5日 (2017.10.5)

【公表番号】特表2016-536431(P2016-536431A)

【公表日】平成28年11月24日 (2016.11.24)

【年通号数】公開・登録公報2016-065

【出願番号】特願2016-541910(P2016-541910)

【国際特許分類】

C 0 8 L 101/00 (2006.01)

C 0 8 K 5/101 (2006.01)

C 0 8 L 91/00 (2006.01)

C 0 8 L 75/04 (2006.01)

C 0 8 L 71/00 (2006.01)

C 0 8 L 27/06 (2006.01)

C 0 8 L 77/00 (2006.01)

C 0 8 L 31/04 (2006.01)

C 0 9 J 177/00 (2006.01)

C 0 9 J 123/08 (2006.01)

C 0 9 J 131/04 (2006.01)

C 0 9 J 11/08 (2006.01)

【 F I 】

C 0 8 L 101/00

C 0 8 K 5/101

C 0 8 L 91/00

C 0 8 L 75/04

C 0 8 L 71/00

C 0 8 L 27/06

C 0 8 L 77/00

C 0 8 L 31/04 S

C 0 9 J 177/00

C 0 9 J 123/08

C 0 9 J 131/04

C 0 9 J 11/08

【手続補正書】

【提出日】平成29年8月23日 (2017.8.23)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

a) 2 個のシラン型末端官能基を含むポリエーテル、2 個のシラン型末端官能基を含むポリウレタン、ポリ塩化ビニル、ポリアミドまたはこれらの混合物からなる群から選択される少なくとも 1 種のポリマー；

b) 以下を含む可塑剤：

i) 少なくとも 1 種の炭化水素含有留分またはバイオマス変換から生じる留分

i i) 少なくとも 1 種の脂肪酸モノエステル

i i i) 1 重量%未満のフタラート；

c) 増粘剤、充填剤、架橋剤、架橋触媒および粘着性付与樹脂またはこれらの混合物からなる群から選択される少なくとも1種の化合物；
を含む組成物。

【請求項2】

請求項1において、前記可塑剤が少なくとも1種の炭化水素含有留分を含む組成物。

【請求項3】

請求項1または2において、前記炭化水素含有留分が、水素化处理、水素化分解または接触分解された炭化水素含有留分である組成物。

【請求項4】

請求項1～3のいずれか一項において、前記炭化水素含有留分が、脱芳香族化および/または脱硫された炭化水素含有留分である組成物。

【請求項5】

請求項1～4のいずれか一項において、前記炭化水素含有留分の沸点が、230～400の範囲内である組成物。

【請求項6】

請求項1～5のいずれか一項において、前記炭化水素含有留分のASTM D445規格に準じた40での動粘度が、2～22mm²/sである組成物。

【請求項7】

請求項1～6のいずれか一項において、前記炭化水素含有留分のASTM D97規格に準じた流動点が、-50～+10の範囲内である組成物。

【請求項8】

請求項1～7のいずれか一項において、前記炭化水素含有留分のUV測定での芳香族化合物の含有率が、300ppm未満である組成物。

【請求項9】

請求項1～8のいずれか一項において、前記脂肪酸モノエステルがC14～18脂肪酸メチルエステルである組成物。

【請求項10】

請求項1～9のいずれか一項において、前記脂肪酸モノエステルと、前記炭化水素含有留分または前記バイオマス変換から生じる留分との質量比が、5：95～75：25に含まれる組成物。

【請求項11】

請求項1～10のいずれか一項において、

- 2個のシラン型末端官能基を含むポリエーテル、2個のシラン型末端官能基を含むポリウレタンまたはこれらの混合物からなる群から選択される少なくとも1種のポリマー；
および

- 少なくとも1種の架橋剤；

を含むマシック組成物である、組成物。

【請求項12】

請求項1～10の一項において、

- ポリ塩化ビニルからなる群から選択される少なくとも1種のポリマー；

- 充填剤；

を含むプラスチック組成物である、組成物。

【請求項13】

請求項1～10のいずれか一項において、

- ポリアミドからなる少なくとも1種のポリマー；

- エチレン-酢酸ビニルコポリマー；

- 粘着性付与樹脂；

を含む接着剤組成物である、組成物。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0099

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0099】

可塑剤としてEMAG/Hydroseal G340H組成物を含有するST-PEマシックの機械的性質が、可塑剤としてDIDPを含有するマシックと同等またははるかに良好であることがわかる。

なお、本発明は、実施の態様として以下の内容を含む。

〔態様1〕

a) 2個のシラン型末端官能基を含むポリエーテル、2個のシラン型末端官能基を含むポリウレタン、ポリ塩化ビニル、ポリアミドまたはこれらの混合物からなる群から選択される少なくとも1種のポリマー；

b) 以下を含む可塑剤；

i) 少なくとも1種の炭化水素含有留分またはバイオマス変換から生じる留分

ii) 少なくとも1種の脂肪酸モノエステル

iii) 1重量%未満のフタレート；

c) 増粘剤、充填剤、架橋剤、架橋触媒および粘着性付与樹脂またはこれらの混合物からなる群から選択される少なくとも1種の化合物；

を含む組成物。

〔態様2〕

態様1において、前記可塑剤が少なくとも1種の炭化水素含有留分を含む組成物。

〔態様3〕

態様1または2において、前記炭化水素含有留分が、水素化処理、水素化分解または接触分解された炭化水素含有留分である組成物。

〔態様4〕

態様1～3のいずれか一態様において、前記炭化水素含有留分が、脱芳香族化および/または脱硫された炭化水素含有留分である組成物。

〔態様5〕

態様1～4のいずれか一態様において、前記炭化水素含有留分の沸点が、230～400の範囲内である組成物。

〔態様6〕

態様1～5のいずれか一態様において、前記炭化水素含有留分のASTM D445規格に準じた40での動粘度が、2～22mm²/sである組成物。

〔態様7〕

態様1～6のいずれか一態様において、前記炭化水素含有留分のASTM D97規格に準じた流動点が、-50～+10の範囲内である組成物。

〔態様8〕

態様1～7のいずれか一態様において、前記炭化水素含有留分のUV測定での芳香族化合物の含有率が、300ppm未満（好ましくは200ppm未満、より好ましくは100ppm未満）である組成物。

〔態様9〕

態様1～8のいずれか一態様において、前記脂肪酸モノエステルがC14～18脂肪酸メチルエステルである組成物。

〔態様10〕

態様1～9のいずれか一態様において、前記脂肪酸モノエステルと、前記炭化水素含有留分または前記バイオマス変換から生じる留分との質量比が、5：95～75：25（好ましくは10：90～60：40、より好ましくは20：80～45：55、さらに好ましくは30：70～40：60）に含まれる組成物。

〔態様11〕

態様 1 ~ 10 のいずれか一態様において、

- 2 個のシラン型末端官能基を含むポリエーテル、2 個のシラン型末端官能基を含むポリウレタンまたはこれらの混合物からなる群から選択される少なくとも 1 種のポリマー；
および

- 少なくとも 1 種の架橋剤；

を含むマスチック組成物である、組成物。

〔態様 12〕

態様 1 ~ 10 の一態様において、

- ポリ塩化ビニルからなる群から選択される少なくとも 1 種のポリマー；

- 充填剤；

を含むプラスチック組成物である、組成物。

〔態様 13〕

態様 1 ~ 10 のいずれか一態様において、

- ポリアミドからなる少なくとも 1 種のポリマー；

- エチレン - 酢酸ビニルコポリマー；

- 粘着性付与樹脂；

を含む接着剤組成物である、組成物。